

研究課題名	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術の治療成績に影響を及ぼす因子についての後方視的多施設共同研究
研究の意義・目的	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法は広く行われている治療法です。その有効性が、腫瘍の個数、大きさ、局在、造影剤での染まる程度、肝機能、治療内容、前治療や後治療によって、変わるかを調べます。これにより、より良い治療法の選択ができることを目的としています。本研究は、大阪公立大学医学部、がん研有明病院、愛知県がんセンター、兵庫医科大学、奈良県立医科大学から情報提供を受けます。研究で用いる情報は暗号化された電子媒体（暗号で鍵がかけられた状態でのクラウドサービス）での受け渡しを行います。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日～2030年12月31日
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2010 年 1 月 1 日～2025年6月 30 日に大阪公立大学医学部附属病院、がん研有明病院、愛知県がんセンター、兵庫医科大学病院、奈良県立医科大学附属病院で、肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓療法を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者基本情報（性別、年齢、既往歴、全身状態、肝性脳症の有無）、治療内容、合併症、治療後の転帰、追加治療の有無、追加治療の内容、血液検査データ（治療前と治療から1・3・6・12ヶ月後のデータ）、血管造影・CT・MRI 画像、冠動脈塞栓術以外の追加治療の有無について調査します。
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 （提供元について）	機関名：がん研有明病院 機関の長の氏名：院長 渡邊 雅之 機関名：愛知県がんセンター 機関の長の氏名：院長 山本 一仁 機関名：兵庫医科大学 機関の長の氏名：学長 鈴木 敬一郎 機関名：奈良県立医科大学 機関の長の氏名：学長 嶋 緑倫
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 研究責任者 影山 健
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 影山 健 【共同研究機関・研究責任者】 がん研有明病院 超音波診断・IVR 部 佐藤 洋造 愛知県がんセンター 放射線診断部・IVR 部 稲葉 吉隆 兵庫医科大学 放射線医学教室 山門 亨一郎 奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座 田中 利洋

個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 （担当者氏名）影山 健 電話番号：(06)-6645-3831